

自動フラッシュバルブ(TEF65L)取付説明書

この自動フラッシュバルブは、別途信号装置と組合わせて使用します。取付けに当たっては、信号装置の説明書と合わせてご覧ください。

製品の種類

自動フラッシュバルブ

TEF65L (埋込ボックス型)

仕 様

■バリエーション

形態	取付壁		タイプ		壁		パーティション壁	
	AC100V	TES2IBBR	TES2ICB	TES2IBBR	AC100V	TES2ICB	TES2ICB	
露出型	押ボタンスイッチ	*TES2IAFR TES2IBFR	*TES2IDF TES2ICF	*TES2IAFR TES2IBFR	*TES2IDF TES2ICF	*TES2IDF TES2ICF	*TES2IDF TES2ICF	
埋込型	押ボタンスイッチ	TES2IBBTR	TES2ICBT	TES2IBBPR	TES2ICBP	TES2ICBP	TES2ICBP	
埋込型	押ボタンスイッチ付 光電センサー	*TES2IAFTR TES2IBFTR	*TES2IDFT TES2ICFT	*TES2IAFPR TES2IBFPR	*TES2IDFP TES2ICFP	*TES2IDFP TES2ICFP	*TES2IDFP TES2ICFP	

注) *印は、大小洗浄タイプを示します。

■仕様

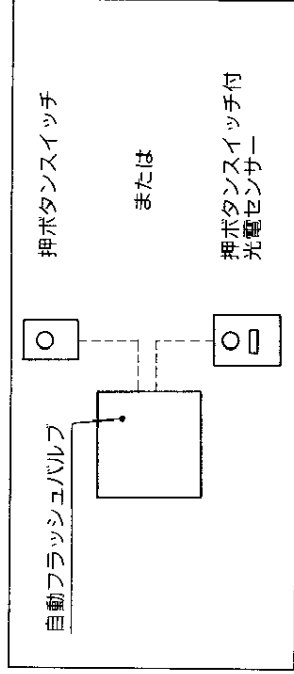
項目	仕 様
外形寸法	435(幅)×16(出代)×395(高さ)
電 源	AC100Vタイプ AC100V(50/60Hz共通)
源 乾電池タイプ	DC6V(カメラ用バック電池2CR6)
消費電力	1W以下
動作時間	5W以下
給 水 圧 力	最低必要水圧: 0.07MPa (0.7kgf/cm ²) 最高水圧: 0.69MPa (7kgf/cm ²)
給 水 接 続 部	25A (ねじサイズ: R1)
周囲温度範囲	0~40℃(水温は1~40℃)

項 目	仕 様
吐 水 量	信号装置で決定 ●大洗浄 約11L/回又は約18L/回 (大小洗浄タイプでは約11L/回に設定) ●小洗浄 約7L/回 (大小洗浄タイプのみ)
付 属 品	バルブ本体、止水栓、ハギュームフレカ、給水管、排水管、ボックス、コネクタ付信号線、取付説明書、養生カバー、小ねじ(M6×25×6個)、蓋

作動のしくみ

- 信号装置からの操作信号を受けると、自動的に大便器を洗浄しますがムダな洗浄を防ぐため一度洗浄すると、約10秒間は同じ信号を受けてもキャンセルし、次の洗浄を行います。
- 押ボタンスイッチ付光電センサーでは、押ボタンスイッチまたは光電センサーで始めに出力された信号で1回だけ洗浄します。(重複して洗浄しません。)

取付け前に



- 自動フラッシュバルブには、押ボタンスイッチまたは、押ボタンスイッチ付光電センサーのどちらか一方を接続します。(同種または異なる信号装置を2個以上並接することはできません。)

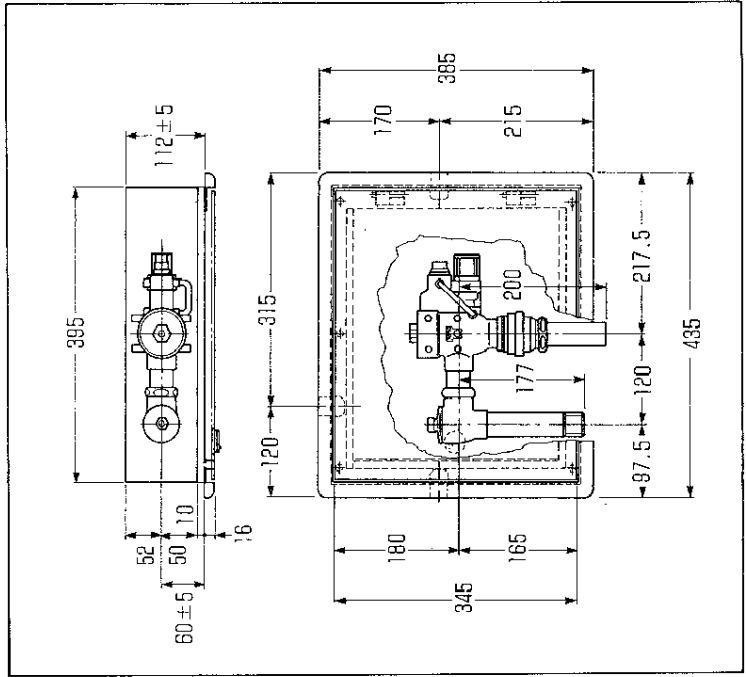
- 水道工事と電気工事は、十分工程を打合わせの上行ってください。

- 電源線は現場でご用意ください。

使用電線: 600Vビニール絶縁電線又はケーブル

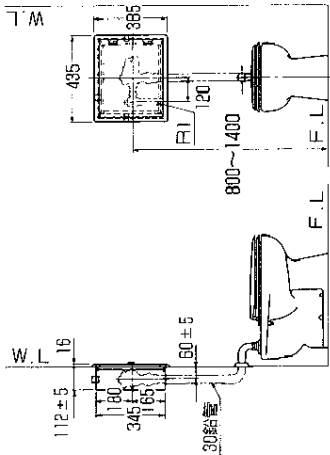
(φ1.6、φ2mmの単線もしくは1.25~2.0mmのより線)

自動フラッシュバルブ外形寸法図

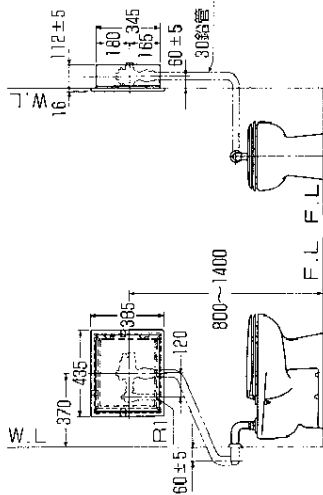


自動フラッシュバルブの取付位置

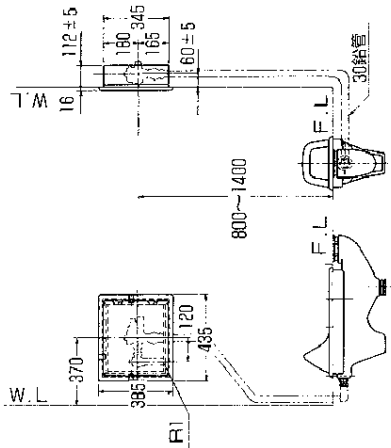
〈腰掛便器後面より接続する場合〉



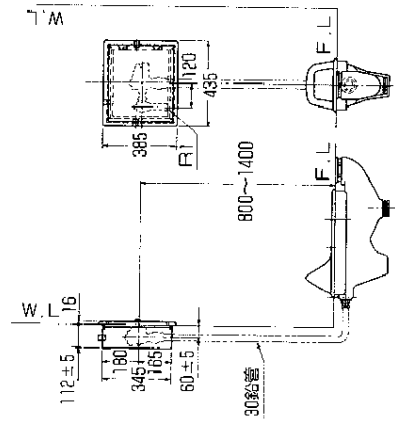
〈腰掛便器側面より接続する場合〉



〈和風便器側面より接続する場合〉



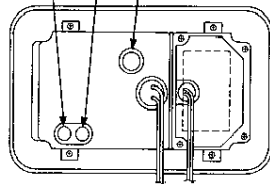
〈和風便器正面より接続する場合〉



信号装置の設定

工場出荷時点で設定されていますので、通常は調節する必要はありません。万一調節が必要な場合は次の要領で行ってください。

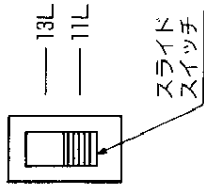
- 信号装置裏面のスイッチで設定します。



SW1
SW2 (大小洗浄タイプのみ)
感知距離調節ボリューム
(押ボタンスイッチ付
光電センサータイプのみ)

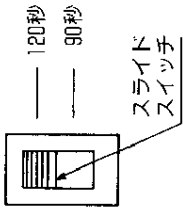
- SW1：洗浄量設定スイッチ

設定	対象便器
11L	C14、C14P、和風便器 (C202を除く)
13L	C202、その他の フラッシュバルブ専用腰掛便器



- SW2：小洗浄判定時間設定スイッチ
SW1、SW2は工場出荷時、次のように設定しています。

- 大洗浄タイプ……SW1：13L
- 大小洗浄タイプ…SW1：11L
SW2：120秒

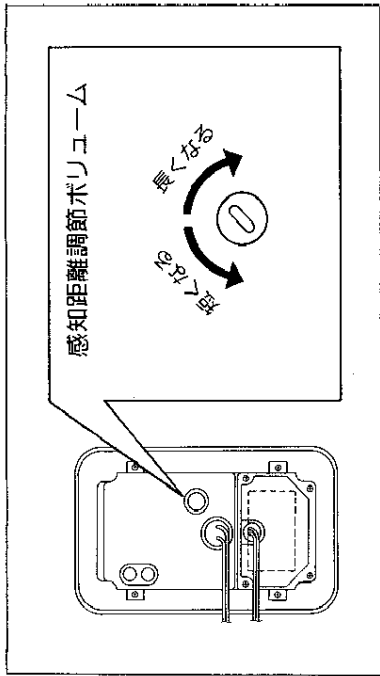


● 感知距離の調節

- ボリュームのキャップをとり調節してください。
- ① 感知しない場合 (感知表示ランプが点灯しない) は、ボリュームを右に回します。
- ② 感知しっぱなしの場合 (感知表示ランプが消灯しない) は、ボリュームを左に回します。

ご注意

- ボリュームは少しずつ回して調節してください。
- ボリュームに無理な力を加えないでください。
- 感知距離を必要以上長くすると誤動作の原因となりますので、必要最少限度としてください。



試 運 転

①通水前に通電してください。
AC100Vタイプ……ブレーカ「入」
乾電池タイプ……信号装置に乾電池（2CR5）をセット（10分間ランプ点灯）

②止水栓を開けてください。
③押ボタンスイッチを押し、大便器を洗浄することを確認してください。

④光電センサーでは、次の場合に大便器を洗浄します。
●大洗浄タイプ……センサーに6秒以上連続で手をかざし、退けたとき

●大小洗浄タイプ
小洗浄……センサーに6秒以上連続で手をかざし、退けたとき

大洗浄……センサーに設定時間(90秒または120秒)以上連続で手をかざし、退けたとき

(注)押ボタンスイッチと光電センサーは、重複洗浄は行いません。

⑤水勢の調節

自動フラッシュバルブの止水栓で調節します。

右回転……弱くなる

左回転……強くなる

〈参考：小洗浄のめやす（JISより）〉

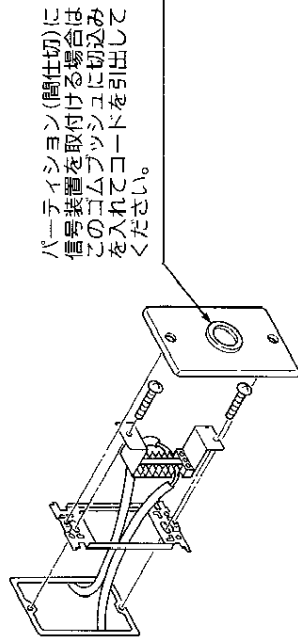
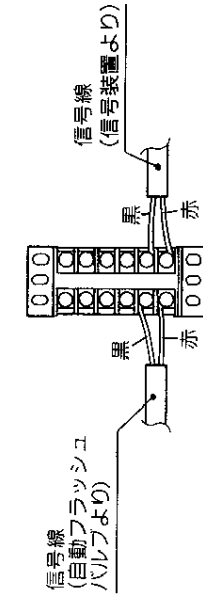
76mmに切断したトイレットペーパー（JIS品）を丸めたもの7個が一度に流れる程度。

⑥水量の調節確認

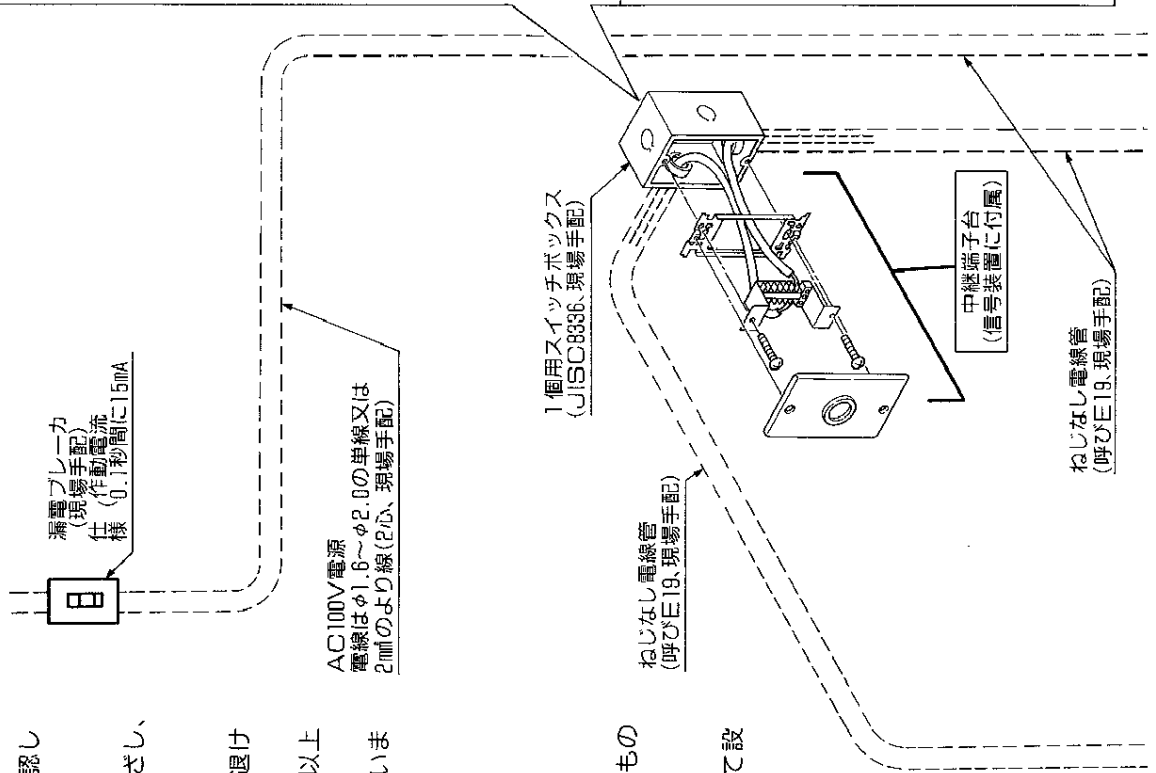
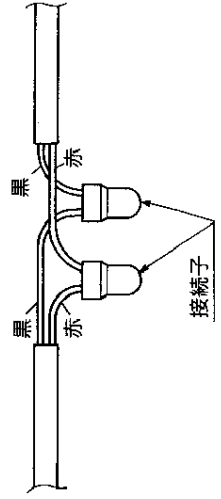
信号装置裏面の「洗浄量設定スイッチ」で便器に応じて設定します。

取 付 け と 配 線

トイレ掃除時に水がかからず保守点検が行える位置に設けてください。

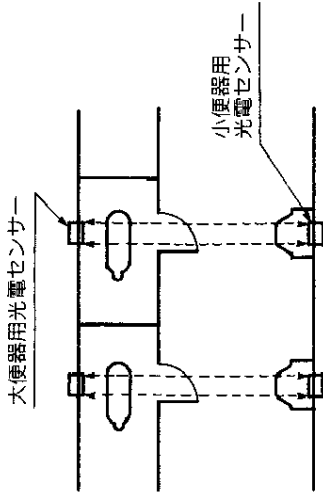


中継端子台を使わないで信号線を接続する場合には絶縁被覆付開端接続子（JIS C2807 接続子の記号及び呼びCE1）で接続してください。



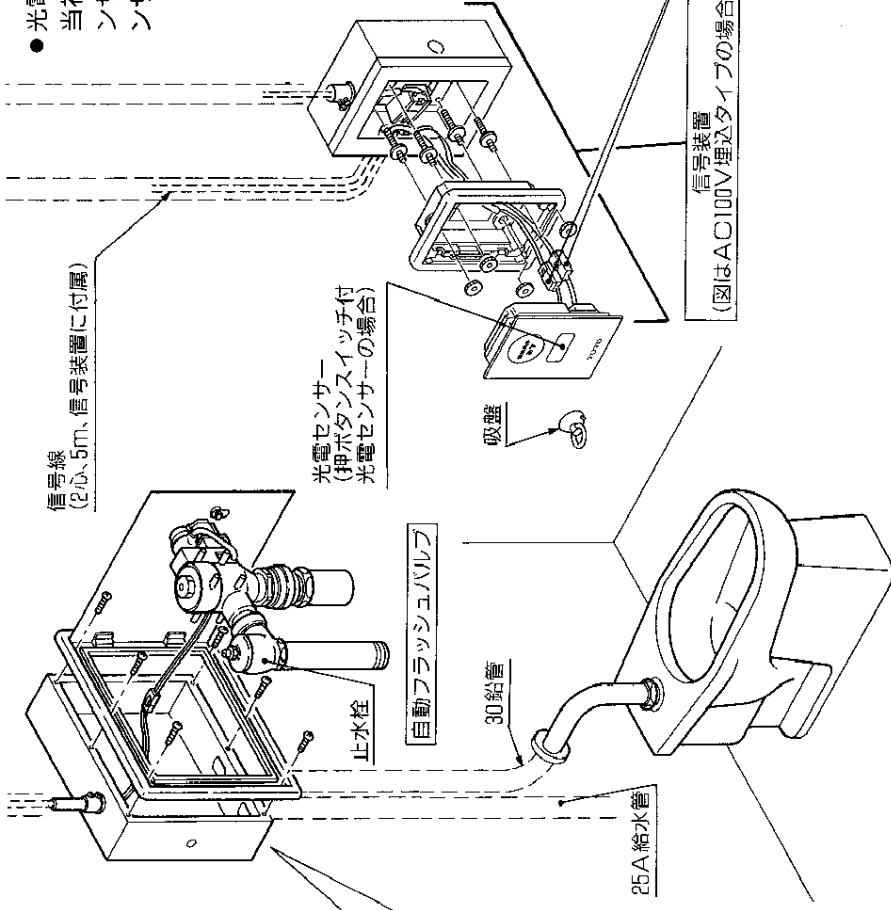
● 光電センサー取付け上の注意

当社USシステム・音短(センサータイプ)及び他の光電センサーと対向しますと誤動作することがありますので、センサーの光軸が同一にならない位置に設置してください。

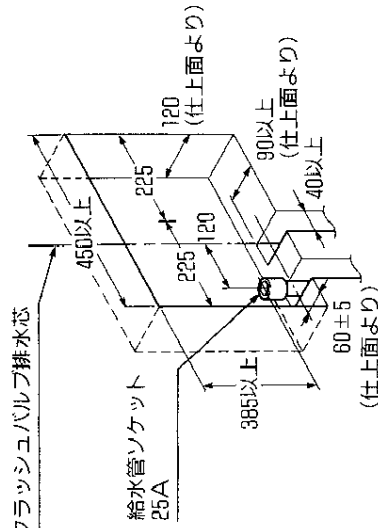


コネクタが電線管内を通りませんのでコードは、信号装置側から引込んでください。

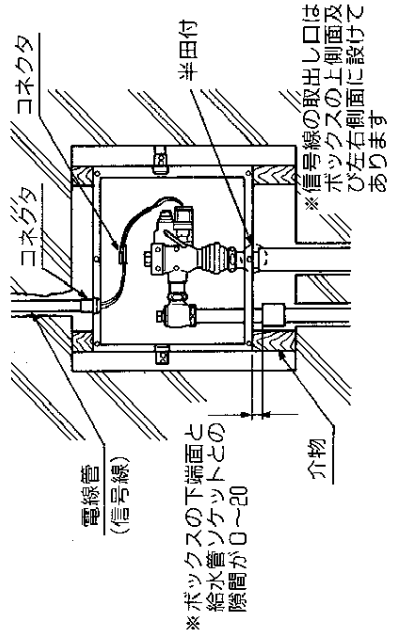
信号装置
(図はAC100V埋込タイプの場合)



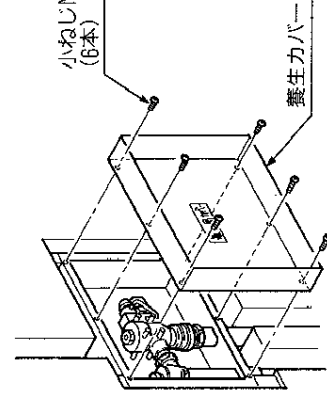
① 下地寸法



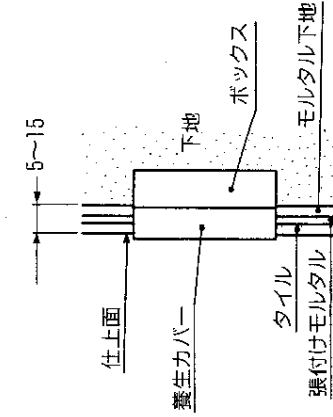
② ボックスの固定及びフラッシュバルブの取付け



③ 養生カバーの取付け及び埋戻し



④ 仕上寸法



⑤ ふたの取付け
養生カバーを固定しているねじでふたを固定してください。

